

## 議事録 4

Japanese Version

プロジェクト名	Super Shipper System	プロジェクトコード	3S	
プロジェクト管理者	Le Van Quy Hoang	指揮者	Le Van Quy Hoang	
		秘書	Nguyen Thi Hong Nhung	
日付	30/09/2015	時間	11.00 : 12.12	
会場	1 0 2 部屋, Hoa Lac 量			
ミーティングトピック	レポート 3 の仕様書とデータベースとソースコードの構造を報告する			
出席者				
番号	氏名	単位/グループ	担当	出席
1	Tran Binh Duong	FPT 大学	監督者	出席
2	Le Van Quy Hoang	AKP チーム	管理者	出席
3	Nguyen Khac Hoang	AKP チーム	技術リーダー	出席
4	Tran Dinh Hoang Huy	AKP チーム	開発者	出席
5	Nguyen Van Quyen	AKP チーム	開発者	出席
6	Kieu Cao Khanh	AKP チーム	デザイナー	不出席
7	Nguyen Thi Hong Nhung	AKP チーム	テスター	出席
目標				
レポート 3 の仕様書とデータベースとソースコードの構造を審査する				
議題				
<div>- 仕様書を審査する</div> <div>- データベース を明示する</div> <div>- ソースコードの構造を審査する</div>				
内容				
<div>1. 仕様書をを審査する</div> <div><div><div>• Hoang: 明示する</div><div>• 監督者:</div></div></div> <div>- 欠ける材料 :</div> <div><div>+ 送り状の状態につて : 状態マシン図を書く</div><div>+ ER 図 - 実体関連図</div><div>+ アクティビティ図</div><div>+ 非機能要件</div></div>				

<ul style="list-style-type: none"> <li>- フォーマットと語法を修正する <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Hoang:</b> 仕様書を完成したら、説明はトリガーによく似ている</li> <li>• <b>監督者:</b></li> </ul> </li> <li>- 説明: 初めから完成まで総論に記述して、テスターがそのユースケースを分かるために具体的に記述する</li> <li>- トリガー: 行為始めするときだけ、これはそのユースケースを実現する目標です</li> <li>- 問題がある場合のメッセージを明確に書くことが必要です。</li> <li>- 有る問題: <ul style="list-style-type: none"> <li>+ 69 ページ: 説明は不明確です。コードを確認することはどうするか質問を答える。</li> <li>+ 85 ページ: 説明は行動に異なる</li> <li>+ ユースケースの例外を詳細に研究する</li> </ul> </li> <li>- ユースケースがあるとき、テスターはテストケースを書き始める</li> </ul> <p>2. データベースを明示する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>監督者:</b> 実体関連図を書いてデータベースを明示する</li> </ul> <p>3. ソースコードの構造を審査する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Hoang:</b> チームのソースコードの構造を明示する .ソースコードを三つに分かれる、それはモバイルとサーバーとウェブです。</li> <li>• <b>監督者:</b> 質問に答える:</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>- クライアントウェブを付けるサーバーは <b>Node</b> モジュールを付けるサーバーに異なる</li> <li>- 共通な部分はどこですか。</li> <li>- 人々のグループにわかれる</li> </ul> <p>4. 今週中しなければならないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>監督者:</b></li> <li>- 優先手順にユースケースを列記する。来週、なんの機能を報告する。</li> </ul>	
結論	
相談項目	決定

仕様書を明示する	<ul style="list-style-type: none"><li>- 仕様書に欠ける材料を足す：<ul style="list-style-type: none"><li>+ 送り状の状態につて：状態マシン図を書く</li><li>+ ER 図 - 実体関連図</li><li>+ アクティビティ図</li><li>+非機能要件</li></ul></li><li>- 文法とフォーマットを整理する</li><li>- 説明とトリガーを区別する</li><li>- 説明: 初めから完成まで総論に記述して、テスターがそのユースケースを分かるために具体的に記述する</li><li>- トリガー: 行為始めするときだけ、これはそのユースケースを実現する目標です</li><li>- 問題がある場合のメッセージを明確に書くことが必要です。</li><li>- 有る問題：<ul style="list-style-type: none"><li>+ 69 ページ: 説明は不明確です。コードを確認することはどうするか質問を答える。</li><li>+ 85 ページ: 説明は行動に異なる</li><li>+ユースケースの例外を詳細に研究する</li></ul></li><li>- ユースケースがあるとき、テスターはテストケースを書き始める</li></ul>		
データベース を明示する	システムの実体関連図を書く		
ソースコードの構造を明示する	<ul style="list-style-type: none"><li>- 質問に答える：<ul style="list-style-type: none"><li>+ クライアンーウェブを付けるサーバーは <b>Node</b> モジュールを付けるサーバーにどう異なるか。</li><li>+ 共通な部分はどこですか。</li><li>+ どんな人々のグループにわかれるか。</li></ul></li></ul>		
材料	<ul style="list-style-type: none"><li>- 優先手順にユースケースを列記する。来週、なんの機能を報告する。</li></ul>		
問題			
番号	詳細	解決法	目標期日
	N/A		